

市民活動やNPOの情報をお届けする山形市市民活動支援センター情報紙

特別号

月刊

とぴあす vol.100

毎月第3木曜日発行
令和7年7月17日

特集

100号記念特集

センターと「とぴあす」のあゆみ
団体取材「NPOの今と昔」

ありがとう！

2008年（平成20年）の発行開始から17年、市民活動団体の方をはじめ、たくさんの方に支えられ、情報紙「とぴあす」はついに100号を迎えました！これからも「とぴあす」を通して、山形市の市民活動やNPOの情報をお届けします。

今号の内容

● 特集：

「とぴあす」発行100号記念特集

センターと「とぴあす」 のあゆみ

団体取材「NPOの今と昔」

● とぴあす 100号記念メッセージ

● イベント・講座情報「んーぼ新聞」

センターや、市民活動・NPO団体が開催するイベント情報をお届けします！

● とぴあす連載コーナー

市民活動ひとくちコラム

「山形大学人文社会科学部 教授 松本邦彦さん」
センター職員のいちおし！ vol.82

インタビュー

山形市市民活動支援センター連絡協議会 理事のみなさん

山形市市民活動支援センター連絡協議会は、山形市市民活動支援センターの利用登録団体の有志により2007年(平成19年)7月に発足した団体です。利用登録団体間の交流促進と、施設の利便性の向上を目的として「やまがた市民活動まつり」を中心に活動しています。



団体に聞く「NPOの今と昔」

発足当時に比べ、震災や社会的な注目により、市民活動の在り方も変化していきました。2011年(平成19年)に発生した震災の際には、とある団体を応援するために連絡協議会のメンバーがそれぞれ協力して、震災発生後1週間で活動資金を集めたこともありました。スピードが求められる分野こそ、民間の力がいかに重要か実感したとのこと。

2009年(平成21年)には、「第1回やまがた市民活動まつり」が開催されました。霞城セントラルに市民活動支援センターがあるということを知っていただくために理事会での話し合いから始まった企画だったそうです。そんなまつりも昨年度開催で17回目になりました。

多くの人に連絡協議会の活動を知ってもらい、新しい団体の参加を増やすためにも、新たな企画を検討中です。入会にはセンターの利用団体登録が必要ですので、詳しくは事務局の山形市市民活動支援センターまでお尋ねください。



全文はこちら

インタビュー

骨髄バンクを支援するやまがたの会 会長 小野寺南波子さん

骨髄バンクを支援するやまがたの会は、県内の多くの方々に骨髄バンクについて理解を広め、当事者の方々へ支援・協力するという目的の元、啓発イベントや患者、患者家族への支援、ドナー登録会、開催などの活動を通して普及啓発活動を行っている団体です。



団体に聞く「NPOの今と昔」

日本で骨髄バンクが設立されたのは1991年(平成3年)、40年ほど前には不治の病と言われていた白血病ですが、その頃から骨髄バンクのことがテレビや雑誌でも取り上げられるようになります。各県に骨髄バンクの普及啓発を目的としたボランティア団体が立ち上げられる中、「骨髄バンクを支えるやまがたの会」が1995年(平成7年)2月12日に発足しました。

小野寺さんの活動は、白血病で亡くなられた息子さんが闘病中に自らを励まし続けるために書き綴った「マモのメッセージ」を本にするという約束から始まり、たくさんの人達に骨髄バンク、骨髄移植について知ってもらおうと活動を展開してきました。

会ではドナーの負担軽減とドナー登録者の拡大を目的とする「ドナー助成制度」・「ドナー休暇制度」を推進し、2017年(平成29年)4月に「ドナー助成制度」が山形県内の全市町村で導入されることになりました。しかし、仕事を休めないことを理由に骨髄提供を辞退するケースが多く、適合するドナーさんの約54%が辞退してしまうとのこと。また「ドナー休暇制度」も現在導入しているのは、山形大学と企業1社しかいないというのが現状だそうです。

今年度で会は30周年を迎える中、若い世代への働きかけを続け、骨髄移植・骨髄バンクについて理解してもらう必要があるとお話いただきました。



全文はこちら

とびあす発行100号記念特集

センターと「とびあす」のあゆみ 団体取材「NPOの今と昔」

センターの発行する情報紙「とびあす」が今号で100号を迎えます。今号の特集では、100号の節目として発行開始から現在まで、センターや世の中で起こった出来事を「センターと「とびあす」のあゆみ」年表としてまとめました。また、団体の方へ「NPOの今と昔」をテーマに取材を行い、これまでにNPOが歩んだ道のりを振り返ります。

センターの出来事

2004年(平成16年) 山形市まちづくりセンターが山形市市民活動支援センターへ移行



2007年(平成19年) 山形市市民活動支援センター連絡協議会発足

とびあす誕生! 2008年(平成20年) 第1期指定管理開始 センター情報紙発行開始!

「山形市市民活動支援センターだより」の発行をはじめ、メールマガジンなどでの情報提供が始まりました。



2009年(平成21年) 第1回「やまがた市民活動まつり」開催

2015年(平成27年) 情報紙の愛称を一般公募 「とびあす」に決定

親しみを持ってもらうために愛称を一般公募、2回の選考を経て新しい愛称が「とびあす」に決定しました。一次選考には連絡協議会の方にもご協力いただきました!



2017年(平成29年) 第2期指定管理開始

2020年(令和2年) 「とびあす」50号発行



2020年(令和2年) 新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策として一部閉館



2021年(令和3年) 市民活動情報コーナー 「ふらっと」オープン

センター閉館中にまちづくり情報コーナーの撤去が行われ、撤去後のスペースの活用方法を再検討。誰でも自由に使えるスペース「ふらっと」として生まれ変わりました。



2021年(令和3年) コーナー名にちなんだ新キャラクター 「ふらっとふれんず」誕生

2022年(令和4年) 「とびあす」が月刊紙と 統合、月刊発行へ

世の中の出来事

1995年(平成7年) 阪神・淡路大震災

1998年(平成10年) 特定非営利活動促進法(NPO法)施行 「特定非営利活動法人(NPO法人)」の法人格取得が可能に

2001年(平成13年) 霞城セントラルオープン

2005年(平成17年) 2005年日本国際博覧会開催 (通称:愛・地球博、愛知万博)

2008年(平成20年) リーマンショック

2010年(平成22年)前後 スマートフォンの普及 各種SNS、メッセージアプリのサービス開始

2011年(平成23年) 東日本大震災

2019年(平成31年) 山形市連携中枢都市圏宣言

2019年(平成31年・令和元年) 元号が「令和」に

2020年(令和2年) 新型コロナウイルス感染症の流行

2020年(令和2年) 山形県の百貨店がすべて閉店

2021年(令和3年) 東京2020オリンピック開催

2023年(令和5年)~ 国内各地で記録的な猛暑

2025年(令和7年) 2025年日本国際博覧会開催 (通称:大阪・関西万博)

2025

令和7年 とびあす発行 100号! 2025



インタビュー

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 事務局長 大場健一さん

特定非営利活動法人環境ネットやまがたは、地球環境と山形の豊かな自然を守るという目的の元、山形県地球温暖化防止活動推進センター業務や山形県環境保全協議会の事務局、環境省が策定したエコアクション21の地域事務局、環境や科学に係る学習の支援などの活動を通して地球温暖化防止に係る普及啓発活動を行っている団体です。



団体に聞く「NPOの今と昔」

立ち上げのきっかけは、1997年(平成9年)の地球温暖化防止京都議定書(COP3)を目前に、環境庁(現在の環境省)により発足した「環境カウンセラー制度」に登録した県内の方々から立ち上げた「やまがた環境カウンセラー協議会」でした。その後、山形県からの地球温暖化防止活動推進センターの指定を勧められたことがきっかけとなり2004年(平成16年)に法人化。県の事業に加えて環境省の委託事業や補助事業等を積極的に受託しながら活動を広げてきました。

2007年(平成19年)頃、東北芸術工科大学との連携で、雪国での二酸化炭素排出量が多く、その要因が冬に暖房で使用する灯油であることがわかり、暖かい家づくりによる二酸化炭素排出量を減らす取り組みを始めました。そのような中、山形県と東北芸術工科大学との連携で環境省からの補助を受け、山形エコハウスの建設に着手し、2010年(平成22年)3月に完成します。無償で10年間の管理と普及・啓発活動を行うかわりに、無償で事務所として使わせていただくという知恵で、2010年(平成22年)に移転し、現在に至ります。

2023年(令和5年)、法人は設立20周年を迎えました。大場さんからは「様々な協力がありこうして活動が続けられている。地球温暖化対策は、2030年目標、2050年目標と、息の長い活動が必要。次の世代にバトンタッチしながら取組を継続していきたい。」とお話いただきました。



全文はこちら

過去の「とびあす」と取材記事は ウェブサイトでご覧いただけます

過去に発行した「とびあす」と、団体への取材記事はセンターのウェブサイトでご覧いただけます。どんな時期にどんな活動があったのかに注目して覗いてみませんか?



情報紙「山形市市民活動支援センターだより とびあす」一覧ページ <https://www.yamagata-npo.jp/archives/category/center-koho/center-koho-topias>



取材レポート記事一覧 <https://www.yamagata-npo.jp/archives/category/dantai/dantai-syokai/dantai-kiji>

イベント・講座情報

んーぽ新聞



センターの講座や、センターに登録している市民活動団体の活動など、市民活動・NPO・ボランティア情報をお届けします！



最新情報はセンターウェブサイトをチェック!!

センターからのお知らせ

初心者のためのふらっとNPO教室

NPOの団体や活動を知りたい、自分にも何か出来ることがあるかも…、そんな方のための教室です。一方的な講義形式ではなく、質問や話し合いを通してみんなで楽しくNPOについて学んでいきましょう。身近で活動している団体の事例もたくさん紹介します！

- 日時 2025年7月25日(金) 18:00~19:30
- 場所 山形市市民活動支援センター ふらっと (霞城セントラル22階)
- 申込締切 7月23日(水)



親子向け科学イベント かがくのへや

山形大学生スタッフが親子に向けて科学の楽しさをおすそ分けするイベント。ゆる〜くお話ししながら、お菓子でもつまみながら、科学で遊んでいきませんか？

- 日時 2025年7月26日(土) 14:00~16:00
- 場所 山形市市民活動支援センター 会議室B(霞城セントラル22階)
- 対象 小学生1年生~4年生とその保護者
- 定員 4組程度(先着順)
- 申込締切 7月20日(日)

夏休み企画 親子マネーゲーム 旅行にGO!

親子で協力して「旅行の計画づくり」にチャレンジ。限られた予算の中で行きたい場所を選び、交通費や宿泊費などを考えながら旅行プランを立てていきます。自然と「お金の使い方」や「世の中のお金の仕組み」にふれることができる内容です。ゲーム感覚で楽しみながら、親子でお金について考えるきっかけを作ってみませんか？

- 日時 2025年7月30日(水) 10:00~12:00
- 場所 山形市市民活動支援センター 高度情報会議室(霞城セントラル23階)
- 対象 小学4年~6年生とその保護者
- 定員 10組(先着順)



市民活動のためのパソコン相談室(個別相談会)

Excelで団体の会計をまとめた。文章をWordで作りたい。ファイルをみんなで共有したい。などパソコンに関する小さな疑問をお気軽に聞きください。わからないことを遠慮なく聞ける、団体ごとに50分の個別の相談会です。



- ※対象は、市民活動団体やNPOで活動している方です。
- 日時 2025年8月9日(土)
 - ①13:00~13:50 ②14:00~14:50 ③15:00~15:50 ※①②③各1団体(先着順)
- 場所 山形市市民活動支援センター ミーティングコーナー(霞城セントラル22階)
- 講師 特定非営利活動法人 Yamagata1

とびポラメンバー募集のお知らせ

ボランティア活動を通じて市民活動にふれてみませんか？

山形市市民活動支援センターでは、毎月発行している情報紙の発送準備をしていただくボランティアを募集しています。年齢、性別問わず様々な方が活動されています。初めてボランティアをする、NPO情報を知りたいという方はお気軽にお申し込みください。

- 活動日 毎月第3水曜日 15:00~17:00 ※次回、8月20日(水)
- 場所 山形市市民活動支援センター ふらっと (霞城セントラル22階)
- 定員 8名程度(先着順)

センター主催の講座・イベント情報の詳細はこちらからご覧いただけます



※講座によっては情報紙発行時にすでに申し込みを締切らせていただいている場合があります。ご了承ください。

登録団体からのお知らせ

坊平天文フェスティバル in summer 2025 天の川星空への招待

星座解説など専門家の解説付きでいろいろな天体を観察します。夏は流星が多く飛ぶ時期です。多くの流星と雄大で美しい天の川をご覧いただけます。いろいろな天体望遠鏡を準備してお待ちしています。



- 日時 2025年8月1日(金)・8月2日(土) 19:30~21:00

- 場所 蔵王坊平高原 ZAO「たいらぐら」(山形県上山市蔵王坊平国有林241林班)
- ※来場者の駐車はエコーライン脇の坊平駐車場などをご利用ください。※観望会途中の出入り自由。雨天・曇天時は中止。



- 連絡先/山形天文同好会(担当:佐藤) Tel080-5221-9318

山形落語愛好協会定例寄席 第20回山形落語まつり

今回は、大喜利もやっちゃいます。メンバー一同、暑さを笑いで吹き飛ばせるよう頑張ってます。今回も木戸銭無料。個性豊かな社会人落語家の爆笑落語と大喜利をお楽しみください！



- 日時 2025年8月9日(土) 14:00~16:30頃 (13:00開場)

- 場所 遊学館ホール(山形市緑町1-2-36)

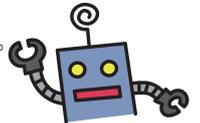


- 連絡先/山形落語愛好協会 Tel080-1823-7324 ※平日は夕方5時30分以降にお願いします。

めざせ!未来の科学者

ロボットカー制作とプログラミング講習会

ロボットカーの組立とプログラミングの教室です。制作を通してロボットの基礎を学び、最終日にはコースの試走も。走行以外にもロボットの動作や機能を実践します。



- 日時 全4回 1回目 8月3日(日) 2回目 9月7日(日) 3回目10月5日(日) 4回目11月9日(日) 4日間とも10:30~16:30

- 会場 山形県産業科学館4階 発明工房(山形市城南町1丁目1-1)

- 対象 全4回の講習会に参加可能な方。小学4年生~中学生 ※小学生は保護者の同伴が必要です。 ■定員 先着8名

- 連絡先/山形県産業科学館(主催:やまがたメイカーズ ネットワーク) Tel023-647-0771



登録団体の皆さんより

とびあす100号記念メッセージ

「とびあす」100号の発行を記念して、いつも支えてくださっている皆さんからメッセージをいただきました。これからも、皆さんの活動に役立つ情報をお届けしていきますので、引き続きよろしくお祈りいたします。



NPO法人 教育力アップやまがた
理事長 小林正樹さん

100号、素晴らしいですね！4コマまんが、楽しみにしています。主催の学習会で、会議室を何度も利用しています。いつもいつもきれいな環境でありがたいです。今後とも、どうぞよろしくお祈りいたします。

こまくさ会 山形支部

とびあす100号なんですね。いろんな情報が掲載されており、楽しみにみております。これからもよろしくお祈りいたします。

MSY在山形ベトナム人協会
代表 笹原智子さん

いつも山形市市民活動支援センターを利用させていただいています。この度は、とびあす100号おめでとうございます。これからも有意義な情報を届けてくださいね！

クリニカルアートやまがた
事務局 井形香さん

100号の重みに加えて頂きありがとうございます。市民活動の情報発信の場として今後も続いていくことを期待しています。おめでとうございます。

認定NPO法人発達支援研究センター
代表 細谷暎子さん

私達の活動を取り上げてくださったりイベントの案内を載せていただいたりと、いつもお世話になっております。とびあす100号おめでとうございます！

山形県青年国際交流機構
会長 福島彩子さん

とびあす100号おめでとうございます！センターの情報紙には、これまで沢山の挑戦や努力が刻まれていると思います。明るく、丁寧に多様な活動を支えてくださっているセンターの皆様、心から感謝しております。

日本野鳥の会山形県支部
支部長 細谷千鶴子さん

渡り鳥のオアシス霞城公園を一望できるセンターは市民活動のオアシスです！人も多様性が保たれてこそ命です。これからも輝ける支援を期待します♪

学び場プラス

とびあす100号おめでとうございます！学び場プラスの活動にご協力いただき、ありがとうございます。応援しております！今後も頑張ってください！

認知症の人と家族の会
佐野あつ子さん

とびあす100号おめでとうございます！いつも印刷コーナーをお借りできて大変有り難いです。これからは市民活動のお助け情報紙としてがんばってください！！

山形県手話通訳問題研究会

とびあす100号おめでとうございます。支援センターではいつもたくさん印刷をさせていただき、とても助かっております。今後ともよろしくお祈りいたします。

国際ソント山形ソントクラブ
副会長 澤和子さん

とびあす100号おめでとうございます。ふらっとふれんずにいつも癒やされています。これからは長らくおつきあいできますように。

山形紙芝居研究会
折原由美子さん

とびあす100号おめでとうございます。めんこいキャラクターで彩られた団体活動紹介が楽しみです。印刷、会議室借用等これからはよろしくお祈りいたします。

野良猫クラブ

とびあす100号おめでとうございます。センターの情報やイベントが、可愛いイラストと共に掲載され親しみやすいですね。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



「とぴあす」100号に向けて

山形市市民活動支援センター
所長 有川富二子

山形市市民活動支援センターの機関紙「とぴあす」は、平成20年5月の創刊号から足かけ17年、ついに100号目を発刊するまでに至りました。

幾人もの職員が関わってきた日々の積み重ねが、100という大きな数字に結実されたことに、感慨もひとしおです。多くの方々の熱意と努力によって綴られてきた歩みは、まさに歴史そのものですね。これからも読んでくださる方の心に響く紙面をお届けできるように、次の節目へ向けて、進んでまいります。



市民活動ひとくちコラム

山形大学人文社会科学部
教授 松本邦彦さん

山形大学で政治学、外交史を教えている松本です。ちょうど貴紙創刊の2008年から、市民団体版のインターンシップとも言える授業「地域づくり特別演習(二)」を始めました(2017年からは「公共政策・地域課題実践演習A2」)。当初は山崎彰先生と、今は柿崎慎也先生とで担当しています。

本授業は主に山形市で活動する市民団体を学生それぞれが選び、参加するもので、活動のなかで、これらの団体が担っている公共的な意義を学ぶことを

狙いとしています。

この時期、市民活動支援センターを含めて、さまざまな団体に学生が実習生としてお世話になっています。もし身近にそんな学生と触れ合う機会があれば、ぜひさまざまな学びの機会を与えてあげてください。よろしくお願いします。

●連絡先/山形大学 人文社会科学部 松本邦彦研究室
✉ matumoto@human.kj.yamagata-u.ac.jp

センター職員のいちおし!

スタッフが気になることやおすすめしたいことなどをご紹介します

vol.82 NPO 勉強会

センターでは、社会のために自分の経験やスキルを生かしたい!身近な社会課題を解決したい!!と考える市民に向けてNPOの勉強会を実施しています。目的別に「初心者のためのふらっとNPO教室」「NPO勉強会~入門編~」「NPO勉強会~NPO法人設立編~」の3つの講座があり、自分の目的に沿った講座をお選びいただけることがポイントです。NPOを組織する上で、必要な3つのステップがあります。1つ目は自分が社会のために何ができるかを

考え、ともに活動する仲間を集めること。2つ目は仲間と共に社会課題に向けて組織的に取り組むこと。3つ目は活動を恒久的に行うための組織図(法人化を含む)を構築すること。この3つを意識して対応する勉強会に参加することでよりNPOの理解が深まります。詳しい内容は、「とぴあす vol.87」に特集されていますのでバックナンバーをご覧ください。(田中)



発行: 山形市市民活動支援センター

〒990-8580 山形市城南町 1-1-1 霞城セントラル 22・23階

電話: 023-647-2260 FAX: 023-647-2261 メール: center@yamagata-npo.jp

・開館時間/9時半~21時

・休館日/月曜日、祝日(月曜日が祝日のときは火曜日)、年末年始

★印刷と相談の方は1団体2名、2時間までの駐車券補助があります。

(霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください)

